

〔多識編二〕石龍芻字之乃比多比、又稱太豆乃比計、

〔書言字考節用集六〕

〔生植〕

〔龍鬚一名タツノヒゲ〕

〔懸莞、龍鬚本名石龍芻、

〔石龍芻莞之、

〔繕雲草又云龍鬚艸、

〔石龍芻莞之、

〔繕雲草並出本草、

〔同〕

〔和漢三才圖會九十四本〕

〔石龍芻略○中、

按和名抄云、石龍芻、和名字之比太非江浦草、和名字豆久毛、一以爲二物、今謂豆久毛者、卽本草所謂石龍芻、形狀能似也、似鳧茈、而長四五尺、太如箭筈、中肉白而不空、開小穗花、結細實、令人取其實充海金砂可辨之、莖纖筵多出於紀州熊野、稱太蘭席、然比莞席脆弱也、疑江常草石龍芻一物矣、而牛額和名之物未知、

〔重修本草綱目啓蒙十〕

〔石龍芻〕

コ。ヒ。ゲ。

一名草毒證類

公明草楊升菴

席草本經

席上草

〔藥性要全〕

石龍福志

水田中ニ種ニ、燈心草ノ類ナリ、燈心草ヨリ細クシテ短シ、長サ二尺許リ、備後福山ヨリ席ニ纖リ出ス、備後席ト名ク、其草纖細ナル故、席至テ草密ナリ、草短キ故席中ニテ續キ纖ル、故ニ申ツギトモ云、席中ノ上品ナリ、近來豐後邊ヨリモ纖リ出セドモ、草粗ニシテ備後ノ產ニ及バズ、

〔新撰字鏡〕

百部根

富度○

〔本草和名草〕百部根、效藥、陶景注云、九眞有二名伯父根、是百部也、和名布止都良、

〔倭名類聚抄二十〕百部、陶隱居本草注云、百部和名保、一種以有百部、故以名之、

〔康頤本草〕百部、味苦无毒、和保止川良、二月八日採暴干、似天門冬、事林廣記云、鐵忌、ヘクソガツラト云說アリ、布止都良、一名婆婦艸、

〔書言字考節用集六〕

〔生植〕

〔百部根〕

婆婦草

〔百部根〕

〔百部根〕

〔倭訓采中編二十三〕ほとつら、和名抄に百部をよめり、新撰字鏡に百部根をほどとのみよめり、今特生蔓生の二種あり、づらはかづらの謂なり、